

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム綾瀬陽光園 新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県綾瀬市落合北3丁目 1150-1、1150-3、1150-4	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	400人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年9月5日
敷地面積	4,222 m <sup>2</sup>	作成者	一級建築士事務所 株式会社 奥野設計 東京本社
建築面積	1,616 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月28日
延床面積	4,205 m <sup>2</sup>	確認者	一級建築士事務所 株式会社 奥野設計 東京本社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外のオンサイト手法	84%
④上記+オフサイト手法	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

音環境	2.6
温熱環境	2.0
光・視環境	2.4
空気質環境	3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

機能性	2.8
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	2.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.0

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.2
効率的運用	2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 小田急江ノ島線高座渋谷駅からバスで約15分の市街化調整区域に特別養護老人ホームを計画した。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 1.25% ≤ [昼光率] JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 個室10m <sup>2</sup> /床以上。 配管内配線により構造材・仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=0.75。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。□	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が84%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される